

はちのへ 市議会だより

平成17年12月定例会

No.51

編集と発行・八戸市議会

八戸市内丸1丁目1-1 ☎43-2111(市庁代表)

2006年(平成18年)2月20日発行



平成十七年十二月定例会は、十二月六日から十二月二十一日まで、十六日間の会期で開き、平成十七年度一般会計補正予算など市長提出議案七十六件、議員提出議案三件を可決して閉会しました。

開通記念式典のようす



主要地方道八戸環状線「市川町工区」
白銀市川環状線「桔梗野工区」 完成

平成17年12月補正予算

一般会計補正額 18億7,902万1千円 補正後の予算額 799億3,808万2千円

主なもの	○私立保育所運営費	212,000千円
	○障害者支援費	140,000千円
	○中小企業特別保証制度保証料補助金	16,800千円
	○企業立地促進補助金	11,000千円

市政に対する 一般質問

財政、観光行政、環境行政、教育行政など、208項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、質問した議員順に要旨を掲載しました。

なお、今定例会では、会派を代表して質問する代表質問がありました。

質問した議員

- ・上田善四郎
- ・吉田博司
- ・松橋知司
- ・畠山敬一
- ・松田勝一
- ・西村吉晴
- ・豊田美吉
- ・山口広道
- ・山名文世
- ・坂本真将
- ・大島一男
- ・畑中哲雄
- ・上条幸哉
- ・田名部和義
- ・角金洋一
- ・伊藤圓子
- ・石橋充志
- ・寺地則行
- ・古館傳之助

企業誘致の取り組みは

市民政友会代表

〔問い〕 企業誘致の現状および今後の取り組みと、北インター工業団地の分譲状況は。

〔答え〕 国内企業の設備投資が上向していることもあり、企業誘致の都市間競争が激化しているため、トップセールスの実施や誘致施策の充実を図り、また、県に優遇制度の充実を要望しながら、誘致運動に取り組んでいきたい。

北インター工業団地の分譲状況は五十七パーセントであり、今後は、製造業に限らず幅広い業種に働きかけをするとともに、用地のリース制度の導入も検討していきたい。

中核市指定に向けた取り組みは

政風クラブ代表

〔問い〕 中核市指定に向けた、周辺町村への働きかけなど、今後の取り組みは。

〔答え〕 市としては、中核市指定に伴う権限委譲の内容や、新たなまちづくりの可能性などの調査・研究を行い、中核市のイメージを作りながら、指定の意義について、周辺町村に理解が得られるよう、働きかけをすることが必要であると考えている。

中核市指定へ向けた、周辺町村との合併については、まずは対話を重ね、理解を深めながら、できることから段階的に進めたいと考えている。

(仮称)ファミリーサポートセンターの事業内容は

社民党・市民連合代表

〔問い〕 (仮称)ファミリーサポートセンターの事業内容と今後の設置予定は。

〔答え〕 (仮称)ファミリーサポートセンターは、八戸市次世代育成支援行動計画において、重点的に推進する事業であり、育児の援助を受けたい依頼会員と、育児の援助を行う提供会員を募集・登録し、会員からの依頼に応じ、育児の手助けを行える会員を紹介するなどの業務を行うものである。

これからの子育て支援策として有効なものであり、来年度の設置に向けて、準備を進めていきたい。

防災計画に男女共同参画の視点を

公明党代表

〔問い〕 被災時における男女のニーズの違いを考慮し、八戸市地域防災計画に男女共同参画の視点を取り入れる考えは。

〔答え〕 被災時における避難所生活の長期化は、女性にとつての環境が劣悪になるなどの問題が顕在化してくる。

これまでの防災計画では、そのような想定をしていなかったことから、今後は、男女共同参画にも配慮していきたい。



青色回転灯装着車

児童生徒の安全確保を

日本共産党議員団代表

〔問い〕 登下校時における児童生徒の安全確保に対する今後の取り組みは。

〔答え〕 市では、児童生徒の安全

確保のため、青色回転灯装着車による巡回パトロールや、安全情報配信システムによる学校や保護者への速やかな情報提供などの取り組みを、学校や地域と連携・協力しながら進めていきたいと考えている。

また、本年度から、県事業で第二中学校区の学校に設置されている、警察官が学校に立ち寄ったことを証明するパトロールボックスを、八戸市連合PTAと協議しながら、市内全小・中学校に設置したいと考えている。

魚市場統合の進め方は

政風クラブ

〔問い〕 攻めの水産業の確立における魚市場統合の進め方は。

〔答え〕 当市の水産業を取り巻く非常に厳しい環境に対応していくためには、抜本的な港湾機能の再構築が必要である。

市では、三魚市場を機能分担し活用しているが、課題も多く、統合は避けられないと考えている。今後、早期に漁港のグラウンドデザインを描く中で、関係団体や漁港管理者である県と連携・協議し、具体的な検討を進めていきたい。

鷗盟大学院の設置を

市民政友会

【問い】 鷗盟大学に大学院を設置する考えは。

【答え】 鷗盟大学は、高齢者の学習活動を通じ、社会参加を促し、生きがいの増進を図ることを目的に創立し、その卒業生は、地域のリーダーとして、積極的に活躍していると認識している。

高齢化が進展する中、鷗盟大学に対するニーズも多種多様化しており、今後、大学院の設置などを含め、大学をどのように充実させていくか、研究していきたい。

県立屋内スケート場の建設は

市民政友会

【問い】 県立屋内スケート場の建設へ向けた、今後の取り組みは。

【答え】 県では、平成二十年度までの大規模公共施設の新規着工を見合わせることにしているが、県内で唯一スピードスケートの公式競技を開催できる長根スケートリンクは老朽化が進んでおり、これに代わる施設として、県立屋内スケート場の建設は大変重要な課題である。

今後も、県立屋内スケート場誘致推進協議会と連携を図りながら、早期建設に向けて、その必要性を強く県に訴えていきたい。

障害者雇用確保の推進を

社民党・市民連合

【問い】 障害者雇用確保のため、法定雇用率達成事業主への入札での優遇策などを導入する考えは。

【答え】 物品などの入札における法定雇用率達成事業主への優遇策として、市内業者を優先しながら、指名回数を多くする方向で具体的に検討していきたい。

指定管理者選定時の評価基準へ、障害者雇用状況を反映させることについては、調査・研究していきたい。

今後も、盲ろう・養護学校や福祉施設などと連携を強化し、障害者雇用確保の推進に取り組んでいきたい。

「田向地区大型商業施設誘致に反対する」意見広告への対応は

市民政友会

【問い】 本年十月三十一日付けの地元紙に掲載された意見広告「田

向地区大型商業施設誘致に反対する」への対応は。

【答え】 市では、この意見広告に対し、具体的に回答することは考えていないが、一つの意見、見識として受け止め、今後の市政運営の参考としたい。

通学路の検証結果は

社民党・市民連合

【問い】 市内小・中学校通学路における安全対策の検証結果は。

【答え】 小・中学校通学路における危険箇所などの実態把握のため、学校、PTAと地域が連携し、調査を実施したところ、改善を希望する箇所が百四十四件で、内訳は、防犯灯の設置や横断歩道の設置が主なものであった。

この調査結果を踏まえ、小・中学校の各校長会では、関係機関と連携し、児童生徒の安全確保に一層取り組むことを確認した。現在、登下校時の青色回転灯装



合掌する土偶

着車による巡回パトロールを実施しているが、今後も、積極的に具体的な支援策を講じていきたい。

医療制度改革大綱への所見は

日本共産党議員団

【問い】 政府・与党が取りまとめた医療制度改革大綱に対する市長の所見は。

【答え】 医療制度改革大綱では、公的保険給付の内容・範囲の見直しが掲げられ、この中の多くは患者の負担増が見込まれている。しかし、国民皆保険を堅持していくためには、医療保険制度を通じた給付の平等、負担の公平を図り、過度に医療費の増大を招かないようにする必要があると認識しており、今後、関連法案の国会審議の動向を見守っていきたい。

合掌する土偶の

国宝指定への取り組みは

市民政友会

【問い】 合掌する土偶は国宝指定の価値が十分にあると思うが、指定へ向けての取り組みは。

【答え】 文化財保護法では、「重要文化財のうち世界文化の見地か

ら価値の高いもので、たぐいがない国民の宝たるものを国宝に指定することができるとなっている。

現在、縄文時代の出土物で、国宝に指定されているものは二件であり、指定へのハードルは高いが、今後、専門家の意見も聞きながら、研究していきたい。

卸センター付近の道路整備を

政風クラブ

【問い】 八戸総合卸センターのメイン道路と都市計画道路3・3・6号および3・3・4号を接続し、交通アクセスを改善する考えは。

【答え】 八戸総合卸センターのメイン道路と都市計画道路3・3・6号を結ぶ道路については、平成5年度に事業着手したが、工事区間を縮小し、平成十四年度に事業を終了した経緯がある。

最近、当該地域の関係団体から、八戸総合卸センターのメイン道路と都市計画道路3・3・6号および3・3・4号の接続について要望があったが、当該地域では、歩道の設置や跨線橋の改築などの予定があり、その進捗よく状況を考慮しながら、今後、事業化に向けて検討していきたい。

西母袋子線新設改良事業の 進ちよく状況は

市民政友会

【問い】西母袋子線新設改良事業の進ちよく状況は。

【答え】現在、現道を含めた三つのルートを想定し、それぞれの概算工事費の算定を行っているところであり、本年度内にこの概算工事費などを基に一つのルートに決定したいと考えている。

その後、用地測量・地質調査・道路詳細設計などを実施する必要があり、これらに二年程度の期間を要するものと考えている。

災害時要援護者の状況把握を

諸派

【問い】災害時要援護者の状況把握と、登録台帳を作成する考えは。

【答え】災害時要援護者支援事業は、重度障害者や一人暮らし高齢者などが、災害時に地域内で支援を受けられる制度であり、取り組まなければならない事業と理解し、検討している。

要援護者の状況把握については、民生委員児童委員などの協力を得ながら、把握に努めていきたい。

また、登録台帳については、要援護者からの申し出による登録とし、個人情報に配慮しながら、台帳登録を働きかけていきたい。



南部氏庭園

南部氏庭園の整備を

政風クラブ

【問い】南部氏庭園の今後の整備計画は。

【答え】藩政時代の庭園芸術を今日に伝える南部氏庭園は、数少ない貴重な財産である。

本年度、春の新緑と秋の紅葉の時期に一般開放したところ、当初の予想を上回る約一万人の来園者があった。

当面、春と秋の開園を継続し、庭園の周知を図りながら、より良い施設整備のあり方について検討していきたい。

田向地区の用途地域の見直しは

政風クラブ

【問い】田向土地区画整理における用途地域を見直しする考えは。

【答え】田向土地区画整理における用途地域は、昨年七月に区画整理事業の土地利用計画に整合する形で変更した。

今後、同事業の進ちよくのために、幹線道路沿いの用途規制の緩和など、利便性向上を必要とし、田向土地区画整理組合において、土地利用計画も含めた事業計画の見直しが行われる場合には、用途地域の変更も検討する必要があると考えている。

国道三四〇号の整備促進は

政風クラブ

【問い】国道三四〇号における是川字天狗沢からは川字鴨平までの整備促進に対する考えは。

【答え】国道三四〇号のうち、笹子交差点から天狗沢までは、県事業で道路拡幅整備が実施されているが、天狗沢から鴨平までは、現在のところ、整備計画がないと聞いている。

同区間は幅員が狭く、急カーブ

や急勾配も多いため、整備が必要であるとされており、国道三四〇号整備促進期成同盟会を通じ、管理者である県に要望していきたい。

人事

○八戸市助役に次の方を選任することに同意しました。

菅原 壽郎 氏

○八戸市収入役に次の方を選任することに同意しました。

西 幹雄 氏

○八戸市固定資産評価審査委員会の委員に次の方を選任することに同意しました。

高橋 牧夫 氏

○人権擁護委員の候補者に次の方を推薦することに同意しました。

新原 秀郎 氏

新たな条例

○八戸市公共下水道受益者分担金徴収条例

○八戸市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。

意見書

議員提出議案として、次の意見書を可決し、関係省庁へ提出しました。

○「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書

○「地域と中小企業の金融環境の改善と金融の円滑化」を求める意見書

○社会保障制度の抜本的改革を求める意見書

請願と陳情の審査結果

不採択となったもの

▽北朝鮮による拉致事件の早期解決のために日本政府による早期経済制裁発動を政府に求める意見書の提出を求める陳情

継続して審査するもの

▽八戸市立の全小学校校舎内に放課後児童クラブ（仲良しクラブ）開設を求める陳情

▽「老人憩の家」「老人福祉センター」の入浴事業に関する陳情

今定例会では、九十二人の傍聴者がありました。

なお、今定例会の会議録は、二月に発行する予定です。